

1 品種登録の番号及び年月日 第31816号 令和8年8月5日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. シャインパール (シャインパール)

3 登録品種の特性の概要

特性は別紙のとおり。

出願品種「シャインパール」は、対照品種「彩のみのり」と比較して、最長芒の長さが極短であること、しま葉枯病抵抗性品種群別が日本水稻型(+)であること等で区別性が認められる。対照品種「イクヒカリ」と比較して、成熟期が中であること、いもち病抵抗性推定遺伝子型がPia, Piiであること、着粒密度が中であること等で区別性が認められる。対照品種「コシヒカリ」と比較して、稈の長さ(浮稲品種を除く。)がやや短であること、いもち病抵抗性推定遺伝子型がPia, Piiであること、高温登熟性がやや強であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 35年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

福井県
福井県福井市大手3丁目17番1号

6 登録品種の育成をした者の氏名

小林麻子 富田桂 町田芳恵 中岡史裕 林猛 田野井真 清水豊弘 両角悠作
酒井究 渡辺脩斗 渡辺和夫 佐藤信仁 佐藤有一

7 出願公表の年月日 令和4年8月4日

8 登録品種の育成の経過の概要

「なつほのか」に「越南227号」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
シャインパール

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	05 中
14 葉身の幅	06 やや広
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
シャインパール

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	05 中
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	05 中
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	04 やや短
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	05 中
31 穂数	05 中
32 芒の有無	09 有
33 初期の芒の色	01 黄白
34 芒の分布	01 先端のみ

Oryza sativa L.
シャインパール

登 録 番 号	
登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部	
第 3 1 8 1 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	01 極短
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	01 黄白
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	05 中
45 葉の枯れ上がりの時期	05 中
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	05 中

Oryza sativa L.
シャインパール

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	06 やや大
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	06 やや大
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	05 5型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
シャインパール

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	04 やや弱
70 穂発芽性	07 難
71 耐倒伏性	07 強
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	Pia, Pii
74 葉いもちほ場抵抗性	04 やや弱
75 穂いもちほ場抵抗性	
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	01 日本水稻型(+)
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	06 やや強
85 着粒密度	05 中

Oryza sativa L.
シャインパール

登 録 番 号	
登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部	
第 3 1 8 1 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
86 ピリミジニルカルボキシ系除草剤（ビスピリバックナトリウム塩）抵抗性	
	87 セシウム吸収性

1 品種登録の番号及び年月日 第31817号 令和8年8月5日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. 恵つくし (メグミツシ)

3 登録品種の特性の概要

特性は別紙のとおり。

出願品種「恵つくし」は、対照品種「夏の笑み」と比較して、穂発芽性が難であること、葉いもちほ場抵抗性が強であること、穂いもちほ場抵抗性がやや強であること等で区別性が認められる。対照品種「夢つくし」と比較して、葉いもちほ場抵抗性が強であること、穂いもちほ場抵抗性がやや強であること、高温登熟性が中であること等で区別性が認められる。対照品種「日本晴」と比較して、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がかなり短であること、穂発芽性が難であること、葉いもちほ場抵抗性が強であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 35年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

福岡県
福岡県福岡市博多区東公園7番7号

6 登録品種の育成をした者の氏名

山口修 宮原克典 石橋正文 大久保佑璃 宮崎真行 井上敬 石丸知道 坪根正雄 高田元気 和田卓也

7 出願公表の年月日 令和4年8月16日

8 登録品種の育成の経過の概要

「ちくし81号」に「西海265号」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
恵つくし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	06 やや長
14 葉身の幅	05 中
15 初期の止め葉の姿勢	01 立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
恵つくし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	02 かなり早
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	05 中
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	02 かなり短
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	05 中
31 穂数	05 中
32 芒の有無	01 無
33 初期の芒の色	
34 芒の分布	

Oryza sativa L.
恵つくし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	02 かなり早
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	05 中

Oryza sativa L.
恵つくし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	05 中
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	04 やや狭
56 穎のフェノール反応の有無	
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	05 中
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	05 5型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
恵つくし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	
70 穂発芽性	07 難
71 耐倒伏性	
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	Pii
74 葉いもちほ場抵抗性	07 強
75 穂いもちほ場抵抗性	06 やや強
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	05 中
85 着粒密度	05 中

Oryza sativa L.
恵つくし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
86 ピリミジニルカルボキシ系除草剤（ビスピリバックナトリウム塩）抵抗性 87 セシウム吸収性	

1 品種登録の番号及び年月日 第31818号 令和8年8月5日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Solanum tuberosum L. ときすばる (トキスバル)

3 登録品種の特性の概要

特性は別紙のとおり。

出願品種「ときすばる」は、対照品種「スノーデン」と比較して、複葉の大きさがかなり大であること、二次小葉の出現度がやや強であること、塊茎の表皮のネットがかなり少であること等で区別性が認められる。対照品種「オホーツクチップ」と比較して、複葉の大きさがかなり大であること、二次小葉の出現度がやや強であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 35年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

カルビーポテト株式会社
北海道帯広市別府町零号31番地4

6 登録品種の育成をした者の氏名

五十嵐俊哉 小泉恵美子 津山睦生 小川慶一 森元幸 大橋聖也 近藤圭馬 荒木宏通 植村弘之 小川省吾

7 出願公表の年月日 令和4年9月29日

8 登録品種の育成の経過の概要

「MONTICELLO」に「きたひめ」を交配し、選抜したものである。

Solanum tuberosum L.

ときすばる

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 幼芽の大きさ	07 大
02 幼芽の形	04 広円筒形
03 幼芽の基部のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
04 幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合	03 高
05 幼芽の基部の毛の多少	03 少
06 幼芽の頂部の基部に対する大きさ	04 やや小
07 幼芽の頂部の型	03 中間
08 幼芽の頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
09 幼芽の頂部の毛の多少	07 多
10 幼芽の根端の数	04 やや少
11 幼芽の側枝の長さ	05 中
12 植物体の草型	02 中間型
13 植物体の草姿	05 やや直立
14 茎のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
15 複葉の大きさ	08 かなり大
16 小葉の重なり	03 中間
17 二次小葉の出現度	06 やや強

Solanum tuberosum L.

ときすばる

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 複葉の緑色の濃淡	05 中
19 複葉の表面の中肋のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
20 第二側小葉の長幅比	04 やや狭
21 頂小葉と側小葉の合着の出現率	01 無又は極低
22 花芽のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
23 植物体の草高	05 中
24 花の数	09 極多
25 花房の大きさ	05 中
26 花柄のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
27 花冠の大きさ	05 中
28 花冠内面のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
29 花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合	01 無又は低
30 花冠内面のアントシアニン着色の広がり	01 無又は極小
31 やくの色	05 黄橙
32 早期肥大性	
33 枯ちょう期	05 中
34 塊茎の形	02 短卵形

Solanum tuberosum L.

ときすばる

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 塊茎の目の数	02 少
36 塊茎の目の深さ	03 浅
37 塊茎の皮色	01 淡ベージュ
38 塊茎の目の基部の色	01 白
39 塊茎の表皮のネット	02 かなり少
40 塊茎の肉色	01 白
41 塊茎の光反応による皮のアントシアニン着色の強弱（皮色が淡ベージュ及び黄の品種に限る。）	01 無又は極弱
42 休眠期間	
43 上いも重	04 やや軽
44 上いも数	05 中
45 上いもの平均重	06 やや重
46 肉質	03 中
47 ジャガイモシストセンチュウ抵抗性	

1 品種登録の番号及び年月日 第31819号 令和8年8月5日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称
Tulipa L. 春のあかり (ハルノアカリ)

3 登録品種の特性の概要
特性は別紙のとおり。

出願品種「春のあかり」は、対照品種「Orange Emperor」と比較して、外花被の先端の形が円形であること、花糸の色数が2であること、花糸の上部の色が紫であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 35年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所
富山県
富山県富山市新総曲輪1番7号

6 登録品種の育成をした者の氏名
西村麻実 浦嶋修 辻俊明 飯村成美 今井徹 池川誠司 井上徹彦 天橋崇 石
黒泰 堀井香織 宮崎美樹 清水誠

7 出願公表の年月日 令和5年10月5日

8 登録品種の育成の経過の概要
「Leen van der Mark」と「Orange Emperor」を交配し、選抜したものである。

Tulipa L.
春のあかり

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草丈	05 中
02 花の数	01 1
03 茎のアントシアニン着色の有無	09 有
04 茎のアントシアニン着色の部位	01 末端部のみ
05 葉の形	06 卵形
06 葉の斑の有無	01 無
07 葉の斑の分布	
08 葉の斑の色	
09 葉の周縁の波打ちの有無	09 有
10 花型	01 一重
11 花の長さ	04 やや短
12 花の形（一重品種に限る）	01 楕円形
13 花の主な色	RHSカラーチャート 16C
14 花被片の外側の色数	03 3以上
15 花被片の外側の二次色の分布	04 ぼかし状
16 花被片の外側の二次色	RHSカラーチャート N34C
17 花のフリンジの有無	01 無

Tulipa L.
春のあかり

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 3 1 8 1 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 花のフリンジの強弱	
19 花のフリンジの位置	
20 外花被の先端の形	03 円形
21 内花被の外側中央部の主な色	RHSカラーチャート 15C
22 内花被の外側周辺部の主な色	RHSカラーチャート N25C
23 内花被の内側中央部の主な色	RHSカラーチャート N30B
24 内花被の内側周辺部の主な色	RHSカラーチャート N30D
25 花被片の内側の斑の主な色	RHSカラーチャート 9A
26 花の斑と境界の色の違いの有無	09 有
27 花糸の色数	02 2
28 花糸の下部の色	04 濃黄
29 花糸の上部の色	05 紫
30 花粉の色	04 紫又は黒
31 開花始期	05 中生